

# かんたん接続ガイド

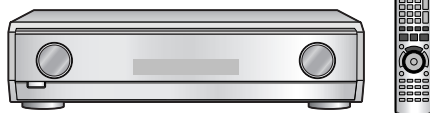
# Panasonic®

本書は、ホームシアターオーディオシステムをお楽しみいただくために必要なAVコントロールアンプ (SU-XR700) とスピーカーシステム (SB-FS1000)、アクティブサブウーハー (SB-WA1000) との接続、およびテレビ、DVDレコーダーとの接続例を説明しています。操作やその他の接続方法については、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

## ホームシアターオーディオシステム

品番 **SC-HT6500**

### ■ AVコントロールアンプ (SU-XR700)



### ■ スピーカーシステム (SB-FS1000)

本機は、左右のフロントスピーカーにセンタースピーカーを内蔵しています。聴覚心理学にもとづいたパナソニック独自の「リアルセンター」方式により、テレビの真正面に座ってなくてもテレビ画面の中から音声が聞こえ、より一体感のある音と映像が楽しめます。

フロントセンター  
スピーカー L (左)



(SB-FC1000L)

フロントセンター  
スピーカー R (右)

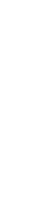


(SB-FC1000R)

サラウンド  
スピーカー



(SB-HS1000)



### ■ アクティブサブウーハー (SB-WA1000)



(SB-WA1000)

## AVコントロールアンプに接続する前に

1 スピーカーシステムの取扱説明書を参照して、フロントセンター/サラウンドスピーカーを組み立ててください。

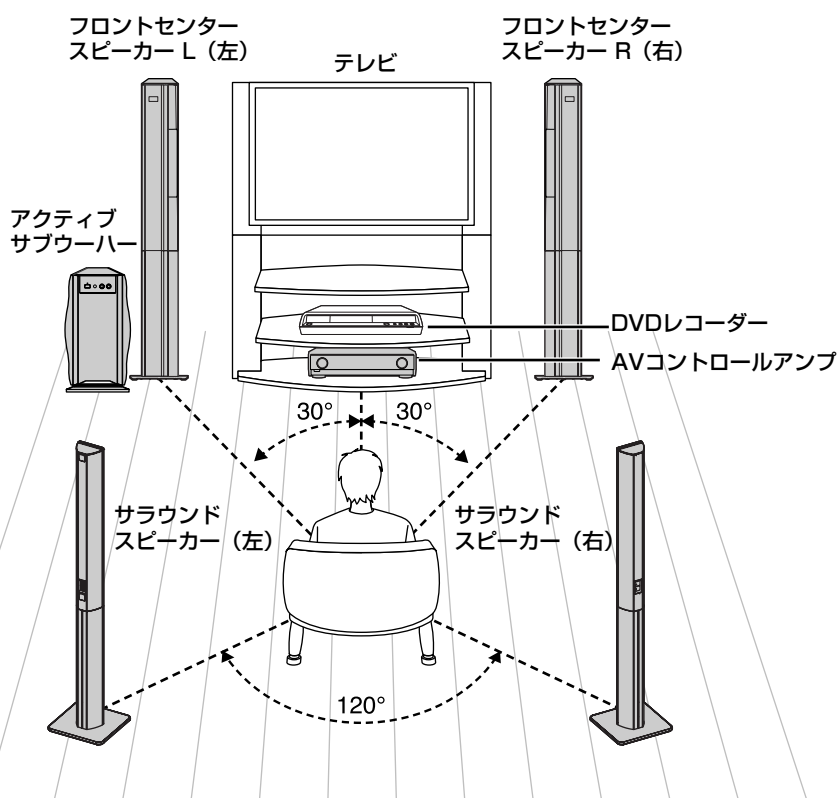
2 フロントセンター/サラウンドスピーカーのスピーカー端子に、付属のスピーカーコードを接続してください。



まず、スピーカーを組み立ててください。

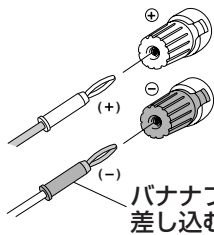
- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 接続する各機器の説明書もご覧ください。
- 機器の上には物を載せないでください。

### 【設置例】



# ステップ 1 スピーカーを接続する

## 1 各スピーカーコード(付属)をAVコントロールアンプに接続する

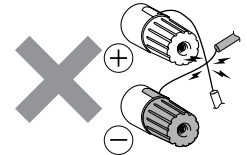


バナナプラグの赤色側は⊕、黒色側は⊖に接続します。  
(スピーカーコードは銅色側が⊕、銀色側が⊖です。)

- 左、右と⊕、⊖をご確認の上、正しく接続してください。  
誤った接続をすると故障の原因になります。
- スピーカー端子を右に回してしっかり締めつけ、端子の穴にプラグを挿入してください。

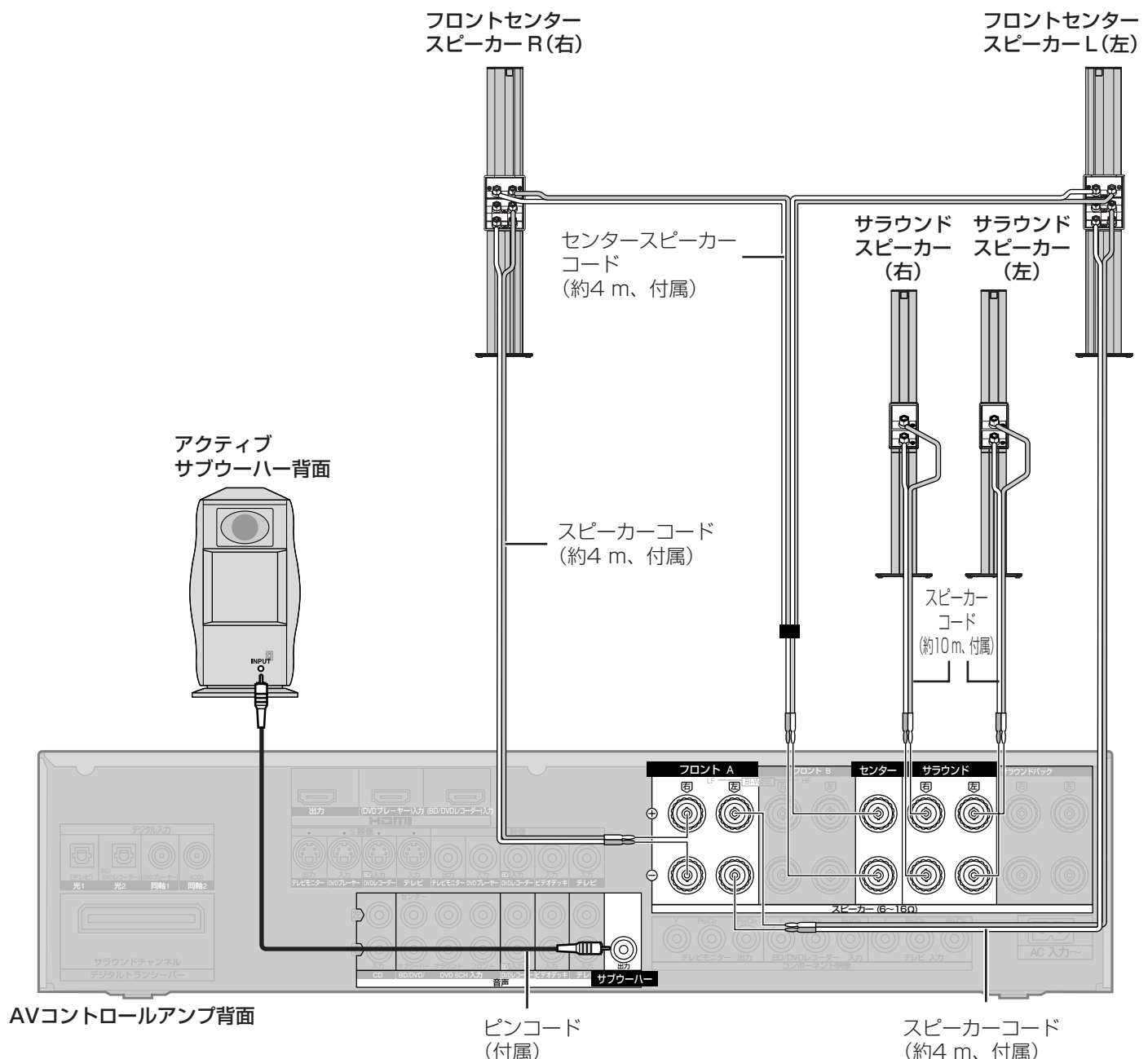
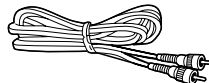
付属のバナナプラグ付きコード以外のスピーカーコードを使用する場合

- スピーカーコードをショートさせないでください。  
回路が破損する恐れがあります。



## 2 ピンコード(付属)でアクティブサブウーハーとAVコントロールアンプを接続する

ピンコード  
(アクティブサブウーハーに付属)



- スピーカーコードを接続した状態でスピーカーを移動しないでください。ショートなどの原因になることがあります。
- スピーカーコードの配線処理は、束ねてひもでくくるなどして、確実に行ってください。

# ステップ 2 テレビ、DVDレコーダーを接続する

ホームシアターオーディオシステム (SC-HT6500) と VIERA Link (HDAVI Control™) 機能対応のテレビ (VIERA)、DVDレコーダー (DIGA) との接続について説明しています。

下記以外の接続をしたい場合は、AVコントロールアンプ (SU-XR700) の取扱説明書をご覧ください。

## VIERA Link (HDAVI Control) とは

VIERA Link (HDAVI Control) 機能に対応した当社製テレビ (VIERA)、DVDレコーダー (DIGA) を HDMI ケーブルで接続することにより、テレビや DVDレコーダーとの連動操作が可能になる便利な機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

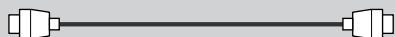
- VIERA Link 機能を使うには、接続したテレビ (VIERA) と DVDレコーダー (DIGA) の設定も必要です。詳しくは各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

HDAVI Control™ は商標です。

## 接続には、HDMI ケーブル (別売) と 光デジタルケーブル (別売) が必要です。

### HDMI ケーブル (別売)

[ 品番 : RP-CDHG10 (1.0 m)、RP-CDHG15 (1.5 m)、RP-CDHG20 (2.0 m)、RP-CDHG30 (3.0 m) など ]



- 当社製 HDMI ケーブルを推奨します。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
- 1125p (1080p) の映像を楽しむ場合は、映像劣化などの防止のため 5.0 m 以下の当社製ケーブルをおすすめします。

HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

### 光デジタルケーブル (別売)

[ 品番 : RP-CA2020A (2.0 m) など ]



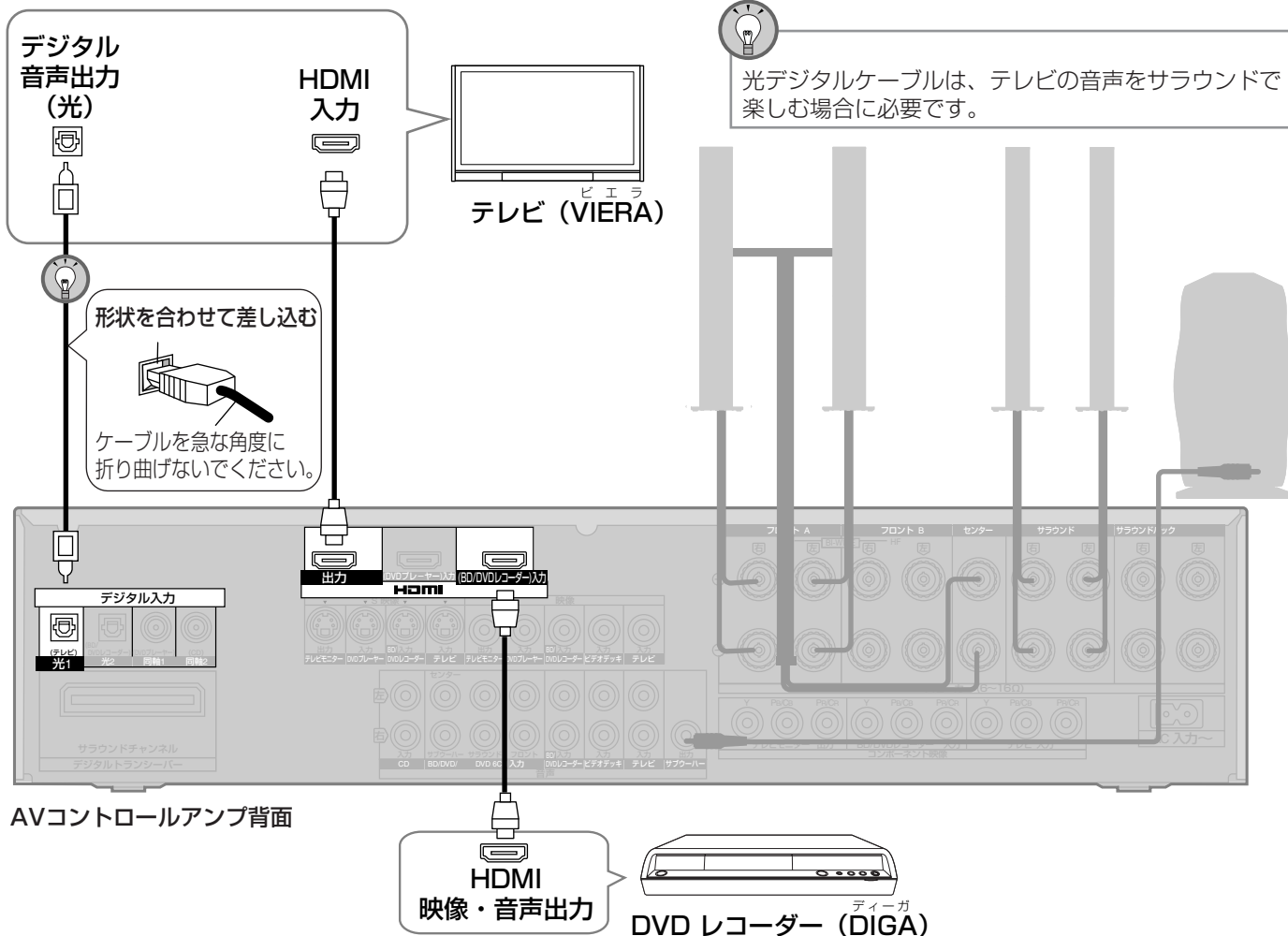
別売品の品番は、2006年7月現在のものです。品番は変更されることがあります。

別売品は、販売店で買い求めいただけます。松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でも買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご確認ください。

**PanaSense** <http://www.sense.panasonic.co.jp/>



光デジタルケーブルは、テレビの音声をサラウンドで楽しむ場合に必要です。



# ステップ 3 電源コードを接続する

すべての機器を接続した後、最後に電源コードを接続してください。

## 1 アクティブサブウーハーの電源コード（付属）を接続する

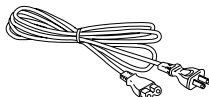
電源コード  
(アクティブサブウーハーに付属)



電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

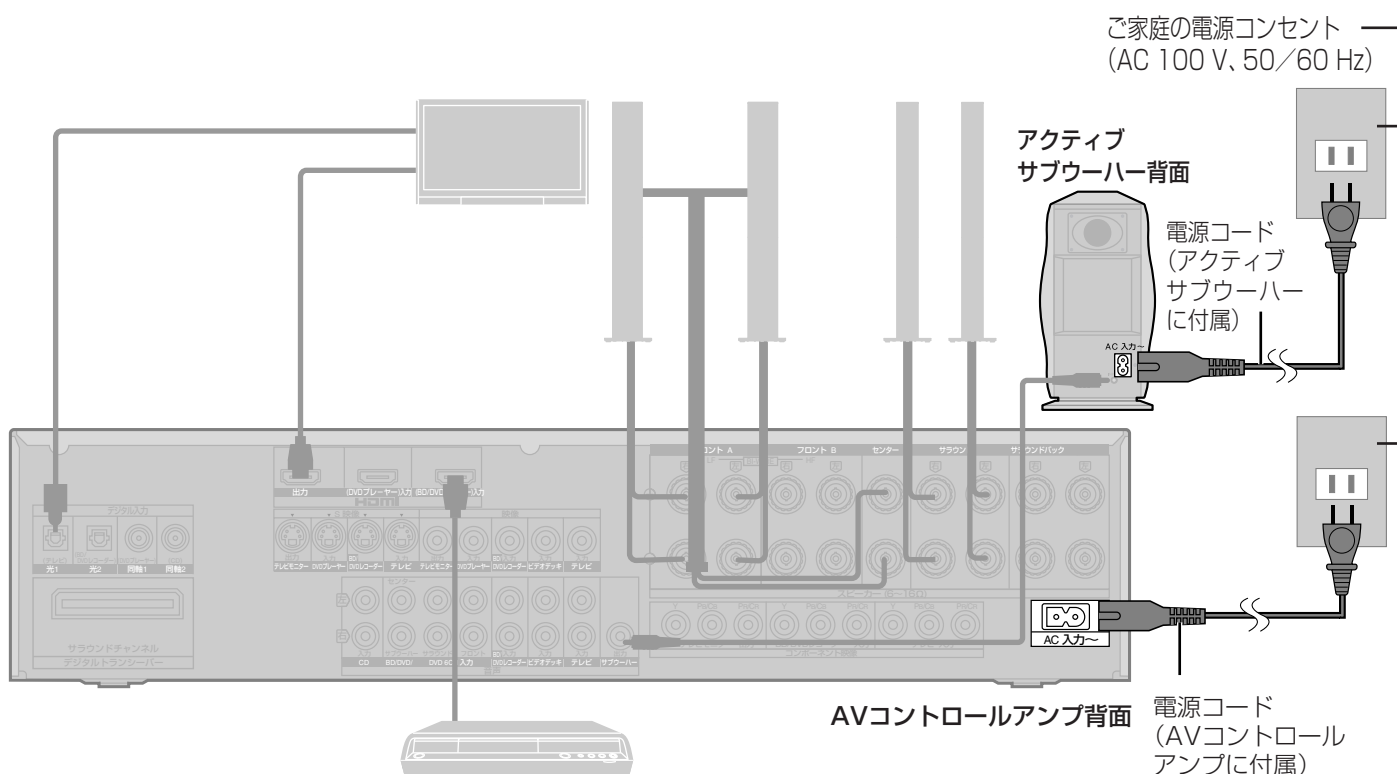
## 2 AVコントロールアンプの電源コード（付属）を接続する

電源コード  
(AVコントロールアンプに付属)



## 3 テレビ、DVDレコーダーの電源コードを接続する

接続は、それぞれの取扱説明書に従って正しく接続してください。



以上で接続は完了です。

ホームシアターオーディオシステムを楽しむには、各機器の設定が必要です。

- AVコントロールアンプの取扱説明書10、11ページ「スピーカーの有無の設定と確認」をご覧ください。
- スピーカーシステムの取扱説明書10ページ「アクティブサブウーハーの使いかた」をご覧ください。
- テレビやDVDレコーダーなど、接続した機器の設定、操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。